

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-012

PDCA	事務事業名	畜産振興事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当	担当	川口	
					内線等	316	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 2. 農業 単位施策： (1) 継続的・安定的な農業経営の促進 個別施策： ①担い手の育成					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	農家が実施する家畜伝染病予防やBSE全頭検査に対して、補助を行うことにより家畜防疫対策を図り、現状を把握し畜産振興に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	県指定の伝染病予防事業事務及び農家や関係機関との連絡調整。 伝染病予防事業やBSE全頭検査について、農家に対する各種補助金の交付。 畜産施設において、畜産臭気など現状の把握に努める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①伝染病予防検査補助金交付頭数	3735	2297	1754	頭	
		②BSE全頭検査頭数	131	165	26	頭	
		③					
		事業費	1058	1108	335	千円	
		人件費	2855	1874	2484	千円	
		総事業費	3913	2982	2819	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①伝染病予防検査牛1頭あたりの事業費	107	123	117	円		
	②BSE検査牛1頭あたりの事業費	5	5	5	千円		
	③						
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①伝染病予防検査実施率	実績値	100	100	100	%
			目標値	100	100	100	
		②	実績値				
目標値							
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B 牛の伝染病（ヨーネ病）予防検査及び死亡牛のBSE検査に補助を行うことにより伝染病の蔓延防止を図った。県内で豚熱（CSF）の発生があったが、畜産農家及び関係機関と連携し防疫対策指導を徹底したため、市内での発生は防疫できた。また、万が一、家畜伝染病が発生した場合に、防疫対策が迅速に実施できるように、防疫マニュアルに沿った埋却地等について畜産農家及び関係機関と確認した。県が実施する豚熱ワクチン接種についても協力し、防疫強化を推進した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 現在、発生している家畜伝染病についての発生状況等を関係機関と情報共有し、畜産農家へ情報提供を行う。防疫対策についても、引き続き徹底するよう畜産農家へ指導し、伝染病の蔓延防止を図る。また、豚熱（CSF）ワクチン接種をはじめとする伝染病予防や畜産振興を図るため引き続き補助を継続する。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①伝染病予防注射実施率	100	%			
		②豚熱（CSF）ワクチン接種実施率	100	%			